＜別紙３ 障害者グループホーム版＞

利用者調査結果

事業所名： ら・すてら上和田

利用者調査概要	利用者調査総合結果
利用者総数：14名 アンケート調査対象：14名 アンケート回収者：12名 回収率：85.7% ヒアリング調査対象：2名	①　アンケートで評価の高い内容と% ・グループホーム内で悩みを聞いてもらったり相談できる人がいる　75%（9人） ・グループホームでの生活に関する不満や苦情がある時に、誰かに伝えることができる　75% ・職員・スタッフは丁寧な言葉で話してくれる　75% ②　アンケートで評価の低い内容と% ・グループホームでの生活について不満や苦情（困っていること）がある　50%（6人） ③　調査全体でとらえた利用者の状況 ・利用者の約半数は、グループホームの生活に不満や困っていることがありますが、8割近い利用者が、ホーム内で相談できる人がいたり、不満や苦情がある時に誰かに伝えることができています。 ・伝える相手は、職員と答えた利用者のほか、第三者委員、と答えた利用者もおり、相談先として説明を受けていることが分かりました。職員に相談したら悪い、と職員に対する遠慮も感じられました。 ・グループホームが好きではない、と答えた理由として、共同生活の中で、他の利用者と相性が合わないことに困っている利用者もおられました。 ・グループホームでの生活では決められた時間内に動かなければならないため、窮屈に感じられる場合もあるようです。同様に休みの日にはゆっくり

	寝ていたいが、そうもいかないと、いう意見もあり、自分のペースで生活するのは困難な面もあることがわかりました。 ・コロナ禍においては一人発熱者がでると居室から出られなくなり、コロナの影響が大きかった、と感じた利用者がいました。 車椅子を使用しており、自由に外出はできないが、ガイドヘルパーと外出や買い物を楽しむ様子を話してくださる方もおられました。